

## 樹木のプラグ苗生産

プラグ苗とは電気差込みプラグに似た形態の根系に育てた苗のことです。この苗を生産する利点は温室などを使って行うので集約的な管理が可能なこと、また山だし苗の生産期間の短縮が図れること、さらに移植が容易なことなどから近年注目されています。すでに花卉や野菜類などで実用化されています。

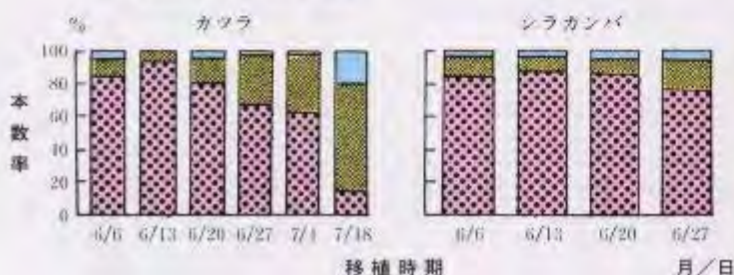
林業試験場では樹木幼苗を生産するためプラグシステムの適用に取り組んできました。

その結果、カマツヤカツラ、カンバ類などは山だし苗のサイズに達するのに従来2年かかるものが1年でできることがわかりました。

その手順は次のとおりです。まず、温室（ビニールハウスなど）においてプラグトレイに3月～4月に播種して発芽させると、約2カ月後には移植可能な根系をもつプラグ苗に育ちます。それを苗畑に移植しますと10月末には1号苗（樹種によって大きさは異なる）の生産本数率が80%以上を占めるようになります。

プラグ苗育成の留意点を次に示します。

- ① 良い種子を選ぶ【比重選】：空プラグを少なくする。
- ② 種子の前処理を怠らない【低温湿層処理】：発芽を揃える。
- ③ 発芽後は明るい場所におく【十分な光条件】：発芽した苗のモヤシ化を防ぐ。
- ④ 散水は肥料を混ぜて1日1回が目安【十分な水分条件】：乾燥枯死を防ぎ成長を促進する。
- ⑤ プラグサイズは中（128穴/トレイ、1穴の径2.5cmで深さ5.0cm）が適【プラグサイズの選択】：苗のバランスを良くする。
- ⑥ 移植は6月上旬【移植適期】：気温が上昇してからの生育期間を確保する。



カツラとシラカンバの1号苗生産本数率 (4月7日播種, 10月末時点)

| 苗の規格 | シラカンバ |      | カツラ   |         |
|------|-------|------|-------|---------|
|      | 苗高    | 根元径  | 苗高    | 根元径     |
| 1号苗  | 45 cm | 8 mm | 60 cm | 8 mm 以上 |
| 2号苗  | 35 cm | 6 mm | 40 cm | 6 mm 以上 |
| 規格外  | 35 cm | 6 mm | 40 cm | 6 mm 未満 |



カツラのプラグサイズ別の成長



カツラの播種後35日目



カツラプラグ苗の移植後2ヵ月目